

施 策：	16	開かれた市政の推進	財務コード	01020103-01-026
基本事業：	01	広報の推進	担当部	企画政策部
基本事業の 成果指標	①広報紙を読んでいる市民の割合 ②メディアへの情報提供件数（計画期間内累計）		担当課	秘書広報課
			担当係	広報広聴担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度		～		新規・継続		継続		会計区分				実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）											
筑紫野市内外の住民及び市内に通勤・通学している人 筑紫野市内の企業等				・ 広報業務として、市ホームページの掲載内容の確認、SNS（Facebook、X（旧Twitter）、LINE、Instagram、YouTube）の運用、市民便利帳の発行の他、マスコミ等にイベント等の情報を提供しています。											
				・ 広聴業務は、まちづくり座談会、まちづくりへの提案等を実施し、市民の声を取り入れながら、市民参画の市政づくりに努めています。											
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）															
行政情報の積極的な提供を行うとともに、市民等からの意見・提案を受け入れ、情報の共有化を進め、市民協働のまちづくりを推進します。															
4. 成果（簡易評価は未記入）															
成果指標名称			単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標					
マスコミ等への情報提供件数			件	88	108	100	100			404					
市公式ホームページ（魅力発信に関するページ）アクセス件数			件	2,853	8,804	20,000	20,000			80,000					
5. コスト															
事業費			計	千円	949	1,889	766	948							
			国	千円	0		0	0							
			県	千円	0		0	0							
			地方債	千円	0		0	0							
			その他	千円	0		52	5							
一般			千円	949	1,889	714	943								
正職員人工数			人工	1.4	1.4	1.5									
正職員人件費			千円	10,819	10,941	12,035									
トータルコスト(事業費+正職員人件費)			千円	11,768	12,830	12,801	948								
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）															
●あがっている			・ マスコミ等への情報提供件数は、市制50周年事業の周知もあり、例年よりも増加。 ・ ホームページのアクセス件数は、指標の対象としているページを再度新着情報に掲載した。また、令和6年3月に魅力発信ポータルサイトを作成したことにより増加。 ・ 広聴事業としては、R5年度中にまちづくりへの提案を126件受付、まちづくり座談会を8回実施している。												
○どちらかといえばあがっている															
○あがっていない（停滞・低下）															
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）															
対象動向	維持	類似事業	なし	・ R4年度から「市政への提案」事業を本事業に編入し、広報・広聴を一体とするように取り組みを進めています。 ・ 市制施行50周年記念事業としてInstagramを開始。他の情報媒体とは別に魅力発信という面で情報発信を行っています。 ・ 移動市長室、市政への提案を令和5年度からまちづくり座談会、まちづくりへの提案に変更。											
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし												
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし												
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり												
成果向上余地	中程度														
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了									
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持／事業終了の場合は記入する必要なし）															
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）								■備考・特記事項 or 進行管理欄							
・ Facebook、X、LINEは順調に推移。 ・ 令和4年2月から新たにInstagramの運用を開始 ・ 令和5年度に移動市長室、市政への提案を見直し、まちづくり座談会、まちづくりへの提案を開始。								・ H26年度から市公式Facebook・X(旧Twitter)開始 ・ H27年度から市公式YouTube開始 ・ R2年度から市公式LINE開始 ・ R3年度から市ホームページをリニューアル、市公式Instagram開始 ・ 令和6年3月から魅力発信ポータルサイトを立ち上げ							